

元気な草加 優しい越谷

NEWS  
LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail: [g04091@shugiin.go.jp](mailto:g04091@shugiin.go.jp) ホームページ: <http://minshu.org/hosokawa/>

2004年4月14日 No. 91

## 自公の年金案は不安を高める

### 国会は年金・道路が焦点

4月の国会の焦点は、政府が提出した年金に関する法案、道路公団民営化法案、裁判員制度の法案などです。年金については昨年総選挙のマニフェストで民主党が提案したものを対案として提出し、政府案と民主党案のどちらが国民にとって将来の安心につながるか議論されることとなります。

### 政府案で空洞化は防げない

政府案は「改革」という名にそぐわず、現在の延長でいかに年金会計を破たんさせずにやっていくかとの視点であり、結果は保険料の負担増と給付減のみに終わっています。厚生年金からの脱退者が激増し、国民年金についても実に4割が支払っていない、という空洞化を防ぐ手立てはありません。

### 積立金を食いつぶすな

さらに、この国会で積立金を無駄に使っている実態が次々と明らかになりました。前から指摘されたグリーンピアなどの関連施設や株による大損に加え、社会保険庁職員宿舎や豪華出張などの問題が出てきました。貴重な原資を食いつぶしている年金官僚を許せません。

### 民主案は抜本改革

民主党の案はまず年金を一元化することです。厚生年金、国民年金、共済年金などを一本にし不公平

をなくします。そのうえで低所得者対象の新しい最低保障年金と所得に比例する年金の2階建てにするものです。そして新しい保障年金部分は全額税を財源とします。これですと、低所得者は年金保険料の負担がなくなり、空洞化を防ぐことができます。今までの制度を大きく変えるため、良くなる人ばかりではありません。民主党は不利になる人については現状維持が図られるよう十分に配慮します。

### 小泉首相も一元化に言及

国会では、首相も厚生労働大臣も今回の政府案は50年先を見た抜本的改革だといいながら、片方で小泉首相は「年金一元化について議論しよう」という、矛盾に満ちた発言をしています。このことはいかに今回の政府案がその場しのぎのものかを示しています。この点について民主党は本会議の代表質問で厳しく追及しましたが、総理ははぐらかしの答弁に終始しました。



## 民営化でも道路は増える

年金とともに重要なのが道路公団などの民営化法案です。本来無駄な道路をつくらず、効率的な運営を図るための民営化であり、その趣旨に沿った審議会答申がでたものの、自民党の道路族と国土交通省は今の道路計画をすべて実現する仕組みに変え、法案を作成したものです。これに抗議し2人の審議会委員が辞任したのも記憶に新しいところです。政府案では民営化とは名ばかりで、国交省が実権を握る現行のシステムが変わらないばかりか、交通量の少ない高速道路はかえってつくりやすくなりました。

## 民主党は「無料化」

高速道路について民主党は無料化案で対抗します。環境、渋滞などを考え首都圏や近畿圏で有料の路線は残すものの、基本は無料化です。欧米などわずかな例外を除き道路は無料が大原則です。無料化によって利便性を高めコストを下げることによって経済や生活を活性化させようというものです。現在、より実行可能な政策にするため、さらに具体的な検討が行われています。

## 犯罪被害者法案再提出

民主党は「犯罪被害者基本法案」を衆議院に再提出しました。筆頭提案者は細川さんです。この法案はすでに何度も提出され過去に2度審議も行われましたが、与党の前向きな対応がないまま、廃案となりました。わが国は「加害者のための法律はあっても被害者を守る法律はない」と言われるほど、犯罪被害者を取り巻く状況は悲惨です。この基本法では犯罪被害者の権利を規定し、犯罪被害の回復と社会復帰の促進を目的に、基本的な支援のための施策を規定しています。

## 埼玉8区で衆院補選

自民党の新井正則議員が大規模な選挙違反事件によって辞任したことを受け、衆議院埼玉8区（所沢

市・大井町・三芳町）の補欠選挙が行われています。民主党からは、前回比例区で当選した木下あつし氏が議席を辞してこの小選挙区選挙に出馬しています。参議院選を前にした大事な選挙ですので、ぜひ皆様のご協力をお願いします。所沢市など埼玉8区に友人・知人がいらっしゃったら細川事務所までご紹介ください。



木下あつし事務所開きで県連代表としてあいさつ

## 「板川正吾氏を偲ぶ会」荘重に

4月10日、「故板川正吾氏を偲ぶ会」が越谷コミュニティセンターで行なわれ、2月に90年の天寿を全うした板川元代議員にゆかりのある人が集まり、故人の在りし日を偲びました。会の実行委員長でもある細川さんは、弔辞のなかで故人の人柄や面影を語り、板川元代議員の後継指名で衆議院に立候補した経緯などに触れながら、故人の業績を称えました。

